

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所あゆみ		
○保護者評価実施期間	令和7年 9月 1日		～ 令和7年 10月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数) 15名
○従業者評価実施期間	令和7年 9月 1日		～ 令和7年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 11名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	車椅子を使用されている利用者様にも利用しやすい設備 ・屋根付きのスロープ ・ストッパー付きの扉 ・広い入口 ・バリアフリートイレ ・広い洗面所	・車椅子を使用されている利用者様が災害時でも移動しやすいように入口近くに席を設けている ・医療用ベッドを使用し褥瘡予防とリラックスできる時間を設けている	トイレが一か所しかないため混雑時は隣接する生活介護事業部のトイレを案内している
2	様々な場所に出かけ公共の場でのルールを学ぶ機会を作っている ・季節に合わせた行事(夕涼み会・クリスマス会等) ・遠足(年1回から2回) ・公共交通機関を利用した外出	・季節のイベントを計画し楽しみながら公共の場でのルールを学べるようにしている ・買い物学習では自立に向けてお金や荷物の管理と、公共の場でのルールを意識出来るように支援をしている	季節のイベント、買い物学習や公共の乗り物を利用したお出掛けの際には事前に計画書を作成し出勤職員に周知するようにしている。利用児童が見通しを持って参加できるように事前におたよりやパンフレット、しおりを用意して安心して活動に参加できるように取り組んでいる
3	個々に合わせた環境調整と支援の提供 ・可動式の机と椅子 ・リラックスできる環境調整 ・生活面での支援 ・意思表出支援 ・学習支援	・身長に合わせて机と椅子の高さを調整し姿勢保持を意識している ・クールダウンできる場所を設定している ・自助具を使用した食事介助やトイレトレーニングなど自立に向けた取り組みを行っている ・絵カードを使用し意思表出できるように支援している	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他事業所や地域との関り、放課後児童クラブなどとの交流の場を持つことが出来ない	・交流する場と時間を調整する時間の確保が課題	他事業所、地域のイベントなどの情報収集を行い、積極的に参加していく。ホームページを利用し法人の活動を地域の方や関わりのある事業所の方々に知っていただける機会を作る
2	保護者様同士の交流が少ない	・保護者会やご家族が参加できるイベントは開催しているが保護者様同士の交流までは至っていない	ご家族が参加できるイベントや行事の開催を検討していく。また保護者向けの研修などを計画し交流が持てる場を設けられるようにしていく
3			